

授業科目 医療管理論

【担当教員名】 瀧口 徹		対象学年	2	対象学科	情報
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
○		◎		○	
【概要】 病院における医療管理について、特に感染管理、地域医療連携、疾病管理、EBM、クリニカルオーデット、高齢者医療などについて学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 医療事故と医療過誤のメカニズム、クリニカル・ガバナンスの構成要素である EBM、クリニカル・オーデット、クリニカル・インディケーター、クリティカルパスを体系的に理解する。次に我が国の医療の質を規定している要素や医療法などの法律の果たしている役割を理解する。更に現行の保険医療制度の仕組みと実際を理解し、DPC システム等の新たな保険診療体系の基本を理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	医療事故と医療過誤 1				
2	医療事故と医療過誤 2				
3	医療の質と評価法 1				
4	医療の質と評価法 2				
5	医療の質と評価法 3				
6	医療保険のしくみ 1				
7	医療保険のしくみ 2				
8	保健・医療・福祉の連携				
9	クリニカル・ガバナンス 1				
10	クリニカル・ガバナンス 2				
11	クリニカル・ガバナンス 3				
12	DPC システム 1				
13	DPC システム 2				
14	DPC システム 3				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		医療・病院管理用語辞典	日本医療・病院管理学 会学術情報委員会	市ヶ谷出版社	2011・3,500 円＋税
		医療の質の定義と評価法	Avedis Donabedian、 東 尚弘 (訳)	健康医療評価研究 機構 (iHope)	2010・3,800 円＋税
		クリティカルパスの進め方	遠藤英俊、諏訪免典子	ぱる出版	2007・2,500 円＋税
		患者満足度 ―コミュニケーションと 受療行動のダイナミズム―	前田 泉、徳田茂二	日本評論社	2005・1,800 円＋税
その他の資料					
【評価方法】 毎回行う小テスト (20%程度)、筆記試験 (80%程度) で評価する。		【履修上の留意点】 将来、病院 IT 管理者 (診療情報管理士等)、医師事務補助者 (ドクターズクラーク、医療秘書等)、診療報酬請求事務担当者 (メディカルクラーク、診療報酬請求事務能力試験認定者等)、その他の医療関係業務に就く場合、いずれの職種も資格取得試験および実際の業務において本科目で習得する情報は必須です。しかし、大多数の学生にとって経験が無い、患者としての経験しかない病院、診療所業務を体系的に理解することは大変です。王道はありませんが 1 回 1 回の授業をよく聞き理解するのが唯一の方法です。			